

インド大使館主催「インド関連進出セミナー」で 当社代表取締役社長荒賀誠が講師を務め インド進出の戦略を語りました

8月2日に東京九段下のインド大使館で

「インド関連進出セミナー Navigating Global markets: Strategies for SME Success」が開催され、インドでのビジネス展開を開始している会社事例として、日東精工の取組み、戦略を代表取締役社長荒賀誠がご紹介しました。

「インド関連進出セミナー」はインド大使館が主催し、みずほ銀行がコーディネートしたもので、インド大使ジビ・ジョージ閣下のご挨拶のあと、みずほ銀行の国際戦略本部ディレクターが概要説明、みずほ証券関係者のサポート体制の説明に続き、当社代表取締役社長荒賀の登壇となりました。インド進出で成功を収めた企業はすでにたくさんあるなかで、日東精工を事例紹介に選んでいただいたのは、当社のインド進出が業界から注目され、またインド政府からも期待されているものだと感じています。

日東精工は中期経営計画「Mission G-second」の事業拡大戦略において、

ファスナー事業の重点施策として「成長国への販路拡大」を掲げ、経済発展が目覚ましいインド市場に着目してきました。既に情報開示、発信しておりますがインドで冷間圧造部品を手がけるVulcan グループと、今般、株式譲渡契約を締結し、目下、株式譲渡の実行準備を進めているところです（インドの関係当局からの承認取得等、クロージング条件が整うまでに想定より時間を要する見込みとなり、取得日を「2024年5月（予定）」から「2024年12月期第3四半期中（予定）に変更」）。

Vulcan社はインドの首都デリーの南西約30kmに位置するハリヤーナー州のグルグラム（旧称グルガオン）に本社を構え、ハリドワールと合わせて2工場を有しています。グルグラムの産業は、1970年代にスズキのインド法人「マルチ・スズキ・インディア（Maruti Suzuki Private Limited）」が自動車製造工場を設立したのを皮切りに、デリ



一の衛星都市として急速な発展を遂げています。Vulcan社は 難易度の高い製品を自社開発で製造できる強みを持ち、売上の業界比率は、72%が二輪車、22%が四輪車、6%が商用車。日系をはじめとする優良企業への販売実績が豊富で、幅広く安定した顧客基盤を有しています。

このM&Aでは、当日東精工グループとVulcanグループの互いの販路活用や技術力の共有など事業のシナジー効果の発揮が期待されるほか、経済成長が著しいインドでの自動車・二輪車業界に幅広く市場参入し、当社グループの更なる販売力と製品力の強化に繋げ、成長を加速させてまいります。さらにVulcan社は、非日系企業との取引が多く、当社グループの戦略に掲げる「非日系企業比率の向上」にも大きく貢献するものです。

※なお8月2日のセミナーに先立ち、7月22日、当社が賛助会員となっているNPO法人日本インド

文化経済センター（以下NICE）主催による在大阪・神戸インド総領事館のニキレーシュ・ギリ総領事（写真中央）のご異動に伴う送別会が、京都市内のクエッションビル内で開催されました。送別会には当社からも荒賀代表取締役社長（写真右）、小雲執行役員（写真左）が招待され、その他にも西脇京都府知事、松井京都市長やインド経済関係者が多数出席をされ盛大に執り行われ、席上において当社インド進出に伴う有意義な情報交換等を行いました。インドとの関係は今後も深めてまいります。



世界初「骨接合用金属素材」医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料 米国での特許を取得しました

当社ではファスナー事業、産機事業、制御事業に次ぐ4本目の柱としてメディカル事業を立ち上げ、2021年には京都府立医科大学・富山大学、京都府の支援を受けて「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」を共同開発。本素材を用いた医療用インプラント製品の開発に着手しています。

この特徴を簡単にあげると一特殊な精錬法でマグネシウムを99.95%以上まで純化させることで、不純物による毒性が少なく、溶けても安全性が高い。結晶の状態を制御することで、骨折した骨が修復を開始するまでの数週間はほとんど溶解せず、数週間後から緩やかに溶解する「初期溶解抑制」が可能となった。骨が再生する適切なタイミングで溶解が始まり、インプラントの強度の低下と、骨への負荷が緩やかに増すため、丈夫な骨の形成を促進する。つまり、症状、環境によって、よりきめの細かい対応ができる—というものです。従来の医療用インプラントなどは、再手術で取り外す前提で形状が決まっていますが、その必要がなくなることで、より強度や安定性を高める形状の追求も可能になります。

この世界初の「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料」の特許出願については2023年6月の日本国特許の取得に引き続き、このたび米国にて特許を取得しました。

これまで骨折などの治療にはチタン合金やステンレス製の金属製インプラントが使われ、骨の接合後に抜去する手術が必要でしたが、麻酔をかけての抜去手術は、大人はもちろん、とくに小さな子供にとっては大きな負担。骨折手術などで骨の固定に使ったあと、役目を終えると身体の中で溶けてしまう医療用インプラント製品（髄内釘やねじ）に適した高純度マグネシウム材料の開発が進めば、これが不要となるものです。当社では今後も知見を重ね、多くの方が安全安心に使えるように開発を進めてまいります。



精錬後のマグネシウム材料



本素材を用いた当社製髄内釘・ねじ・ボーンプレート（試作品）

高精度・高機能NXドライバ T3シリーズに 低トルクモデルを追加

今般、高精度・高機能ねじ締めドライバNXドライバT3シリーズに低トルクモデル「NX008T3/SD600T1」を新たに追加し受注を開始いたしました。本製品はM2、M3クラスの小径ねじサイズに対応する0.2Nmから0.8Nmまでの低トルク帯用のねじ締めドライバです。NXドライバT3シリーズのデータ収集機能やフィールドネットワーク機能などを実装し、車載用ECU基板をはじめ、家電製品や精密機器のねじ締めなど低トルク帯のねじ締めにおいても、簡単にIoTに対応することが可能となります。当社では、今後もねじ締め品質の更なる向上を目指して、各種高機能モデルの開発を積極的に行ってまいります。

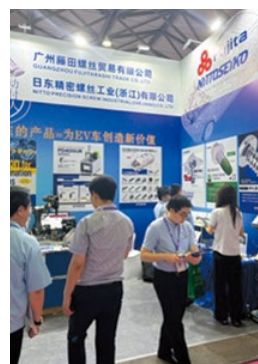


製品仕様
(外観イメージ)

左がツールユニット「NX008T3」、右がコントローラ「SD600T1」。2024年8月1日より受注を開始しています。

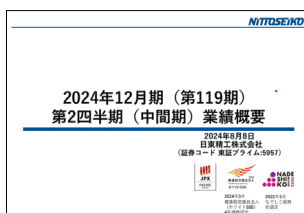
NPS社が上海での展示会に出展 日東精工の技術の高さを訴求

「The 12th Shanghai International New Energy Auto Technology and Supply Chain Expo 2024」は世界の新エネルギー車メーカーと自動車部品サプライヤーが集結する展示会です。8月2日から4日まで上海自動車展覧センターで開催され、当社の現地法人NPS社は広州藤田螺丝貿易有限公司（当社代理店の藤田螺子工業(株) 中国現地法人）と自動車軽量化技術・材料展示エリアに共同出展しました。CPグリップ、ギザタイト、ジョイスタッド、ねじ締めロボット（高精度ねじ浮き検出&コンタミ対策）、単軸ねじ締め機（参考出展：推力ほぼゼロ）など、日東精工の製品、技術力の高さをアピールしました。



2024年12月第2四半期 決算説明会をオンラインで開催

8月28日に(株)日本投資環境研究所協力のもと「2024年12月期第2四半期決算説明会」をWeb形式にて実施。当社代表取締役社長兼COO荒賀誠が概要説明をいたしました。当社は持続可能な成長重視の4つの戦略（事業拡大戦略・環境戦略・人材戦略・財務戦略）を掲げた中期経営計画「Mission G-second（2023年～2025年）」を推進しています。当期は環境戦略に関連して溶剤リサイクル分野における環境課題解決事業がキックオフしたこと、アジア市場における事業拡大を見込んだインドの部品メーカーの子会社化を決定したことなどをご報告しました。



動画はこちら
ご覧いただけます▲

日東精工のInstagramを ぜひフォローください。

当社の新製品や展示会出展情報などはホームページなどに随時アップしていますが、Instagramでもさまざまな情報をアップ。当社のマスコットキャラクターねじっくんがナビゲーターとして、肩の力を抜いて楽しんでいただけるような構成です。社員のオフショットなども紹介。パラグライダー部の岩崎拓夫（第18回アジア競技大会で金メダルを獲得する実力の持ち主です！）が「2024丹波仕込みカップ」で見事優勝を果たした様子なども紹介しています。



玉磨かざれば光なし

代表取締役社長

荒賀 誠

『天』

の蚕が夢をつむぐ』という書籍に載っていたエピソードをご紹介します。

大島紬^{おしまちゅう}といえば奄美大島で1300年の歴史をもつ絹織物で、世界三大織物の一つです。しかし、きものを着る人が減って売り上げが減少。打開策として大島紬のネクタイを製品化。大島紬のブランドをもつてすれば、売れるだろうと算段したのですが、これがまったく売れなかった。それでハタと気がついた。ネクタイを買う人にとって、大島紬というブランドは正直どうでもよかったのです。それで大島紬を前面に出さずに（風合いが独特でオシャレに見える

る）（肌触りが良く締めたときに心地がいい）といった点をアピールしたところ、まったく同じ製品なのに売れるようになり、新たなファンも獲得できたそう。大島紬というブランドにしがみついているだけの愚かさ^{おろそかさ}に気づいて、どうすれば相手に受け入れられるかを考えるようにした、つまりブランドを見つめ直し、より磨き^{とぎ}をかけたことで、新たな展開が生まれたということでしょう。どんなに輝いているものでも磨かないと光は失われていきます。当社も日東精工というブランドを大切に

『天の蚕が夢をつむぐ〜大島紬ものがたり』 谷本雄治 フレーベル館

「幸せ」を見つけるヒント ——— 9月

小さな積み重ねでナンバー1 評価を獲得

トレイルランはマラソンが整備された舗道を走るのに対し、起伏の富んだ山道を駆けていくスポーツで、昨今の健康志向、自然志向もあって、ほぼ毎週全国どこかでレースが開催されています。当社が本社をおく京都あやべでも昨年から「水源の里トレイルランinあやべ」が開催され、当社も大会を協賛しています。大会主催者が各レース後参加者にアンケートをとり、その評価を集計しランキングしているのですが、昨年はじめてあやべで開かれた大会は年間ランキングで2位、そして今年はこれまで開かれた

大会のなかでは第1位※を獲得しています。全国平均が78点に対し、あやべのトレイルランは96.4点※とダントツの高評価となっています。

もちろん、あやべの豊かな自然、コース設定が評価されたわけですが、じつはあやべは車イス駅伝発祥の地であり、また市民駅伝や里山サイクリングなどを何十年も続けている実績があります。水源の里集落でのおばあちゃんのおもてなしなど、あやべの人のホスピタリティが高く評価されたわけでもあります。つまり、こういったひとつひとつの小さな積み重ねの上にナンバー1 獲得がある。これからもこの積み重ねを大切にしていきたいですね。

日東精工代表取締役会長
綾部商工会議所会頭

材木正己

※2024年8月30日現在

